

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9  
ロシア東欧経済研究所 購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

1996年(平成8年)9月15日 No. 1034

## 目次

経営不振に陥ったロシア大手商業銀行のその後……………坂口泉	1
一国の対応に翻弄される商業銀行—	
キーパーソン……………	9
ロシア政局秋の陣、初戦は現職知事に軍配	ロシア外国貿易銀行に新頭取
統計速報(1996年1~7月の日本の対C I S・東欧主要国貿易)……………	10
C I S諸国通貨の最新為替レート……………	10

### 経営不振に陥ったロシア大手商業銀行のその後 一国の対応に翻弄される商業銀行—

はじめに 今年に入り、ロシア商業銀行ランキングで40位以内に入っている銀行3行(トヴェリユニベルサルバンク、クレドバンク、ユニコムバンク)の経営危機が表面化した。

これらの銀行に対する政府・中銀の対応は驚くほど異なり、トヴェリユニベルサルバンクに関しては、危機が表面化して1ヵ月余りで早々とライセンス剥奪の決定が下された。一方、ユニコムバンクの場合は、モスクワ州が支配株を買い取り州立銀行とするという事実上の救済措置がとられた。

このような対応の違いは、一体どこから出てくるのであろうか。本稿では、この点にスポットを当てながら、上記3行の危機の内容および周辺の動きについて探ってみたい。

#### 1. トヴェリユニベルサルバンクの場合

**経緯** この銀行は、トヴェリ州に本拠を置く商業銀行で、1996年1月1日付けのロシア銀行ランキング(「REITING」社作成の総資産額によるランキング)では第17位に入っていた。ここ数年、同行はこのランキングでの順位を順調に上げていた。また、同行が発表していたバランス・シートにも経営危機を予感させる要素はまったくなかった。このため、誰もがその経営状態の堅調さを信じて疑わなかった。